

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ラ・ムー堺中店 新築工事	階数	地上1F
建設地	大阪府堺市中区平井770-1の一部	構造	S造
用途地域	指定なし、指定なし	平均居住人員	5人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2018年1月10日
敷地面積	7,754 m ²	作成者	岩崎 環
建築面積	3,037 m ²	確認日	2018年1月15日
延床面積	2,847 m ²	確認者	安井 克昌



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
当建築物は、堺市北有料道路堺インターチェンジ北約1Kmの工場地帯の中に立地し比較的、建ぺい率が小さく規定された地域にあります。よって、道路に面する壁面は出来るだけ後退させ周辺の環境に溶け込む様に計画します。又、来客用に十分な駐車スペースを確保し、公共の交通の流通性に配慮します。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
天井の高さを4.5m確保し、ゆったりとした空間の創出に配慮します。又、壁・天井の仕上材等もF☆☆☆☆の材料を使用し、有害物質の発散を小さく抑えるように配慮します。	店内はバリアフリー仕様とし、廊下・階段等の幅を大きくとり、来店客の移動をスムーズに行える様に配慮します。	敷地内は多くの植栽を植えて周囲の良環境の創設・維持につとめます。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネルギーに関しては、事務所・荷捌場の照明機器・空調機器は省エネルギー仕様の機器等を使用します。空調・換気機器についても出来るだけCOPの大きい機種を選びます。	水資源・再生性資源の活用に関しては、特に環境への配慮は行いません。環境汚染物質に関してはフロン等の汚染物質は使用しません。	環境の温暖化・大気汚染に関しては、敷地内の緑化を進めます。又、空地を多く取り通風の機能の増大を行います。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)ラ・ムー堺中店 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市中区平井770-1の一部	1.3	B+
	主用途/延床面積	物販店 / 2,846.53 m ²		

2. 重点項目への取組み				
重点項目	評価点	取組み度		
CO ₂ 削減	4	● ● ● ● ●		
省エネ対策	4	● ● ● ● ●		
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●		
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●		

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			4.0	4
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコア による評価値	建物全体	3.0	4	
		住居・宿泊部分	3.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				5.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				4.8
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.0
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			3.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
なし	
特に配慮した事項	
特になし	